



板一中だより

2025年12月12日



学びのエリア7年生：143名 8年生：121名 9年生：117名 計381名

板橋区小中一貫教育「板一中小中一貫学びのエリア」（板二小・板六小・板七小・板一中）

クロームブックの利用制限からよみとく

校長 伊藤 聰

11月に新しいクロームブックをお渡ししました。これは、みんなの学習で使ってもらうために板橋区から貸し出ししているものです。使い方や管理の仕方を考えて使用してください。また1月から次のように制限がつきます。この制限は学校によって若干異なります。

板橋区教育委員会から、令和8年1月より一人一台端末のフィルタリングや利用時間を制限するようにとの指示がありました。これは家庭の利用時間や学習目的以外での利用がみられ、ルールが守られないことから生活リズムにも影響があるためです。本校では、令和8年1月8日の3学期始業式以降は、午後1時から次の日の午前6時までを利用不可能な時間に設定します。

利用制限の文章をよみとくと、ルールが守れず、昼夜逆転のような生活リズムになり日常生活に影響が出てきてしまったため、このようになったというところでしょうか。善し悪しの判断ができるないと、不自由になてしまうことの一例と言えるでしょう。

さて、今回の制限は、みんなのタブレットの利用時間とアプリの使用に関する制限です。海外に目を向けるとネットの利用自体に様々な対応が始まっていますが、みなさんはご存じでしょうか。

オーストラリアでは、2024年11月、オーストラリア議会は世界初となる16歳未満の子どもによるソーシャルメディア（SNS）利用を法律で禁止する法案を可決しました。2025年12月10日から施行され、その動向は世界中で注目されています。禁止に至った背景としては、SNSの過剰な利用が子どもたちのメンタルヘルスに深刻な影響を及ぼす可能性があり、自己肯定感の低下、うつ病などのリスクが指摘され対策が求められたためです。特に、他者との比較やオンラインでの承認欲求が、子どもたちの心理的な負担を増加させて、プライバシーとデータ保護の問題、ネットいじめとオンラインハラスメントもその要因として位置付けられています。

また、ニュージーランドとマレーシアでは16歳未満のSNS利用を禁じる動きが進み、マレーシア政府は2026年をめどに、16歳未満の子どもによるSNS利用を禁止する方針を発表しています。欧州議会でも11月26日、「年齢相応のオンライン利用」を確保するため、ソーシャルメディアの最低利用年齢を16歳以上とするよう加盟国に求める決議を可決しています。アメリカでは州により異なりますが、現在36州で学校内のスマートフォンなど電子機器の使用を制限する法律やルールが定められている状況です。いくつかの事例からは板橋区のようにスマートフォンの利用時間帯や場所に制限をかけている国もあれば、SNS利用を制限するだけではなく、一定の年齢まで禁止する国もあります。

日本では、SNSによる誹謗中傷により命に関わる事件や危険な人物とつながり事件に巻き込まれるケースもあり、日本の状況も楽観視はできません。日本での、SNSに起因するリスクから子どもを守る法規制はこども家庭庁で議論が始まったばかりです。では、皆さんが日本の子供たちのSNSやスマートフォンの利用について決める権限があったとしたら、どのようにしますか。また、その理由はなんと説明しますか。